

# しあわせ未来 お節介シンポジウム

(地域少子化対策強化交付金)

## 地域の実情と課題

### ○実情

- ・出生数は16,210人で昨年比69人の減少
- ・8年連続で死亡数が出生数を上回る
- ・男女ともに晩婚化の傾向が続く
- ・生涯未婚率は、男女とも10年前の約2倍

### ○課題

- ・未婚者の6割に異性の交際相手がいない
- ・結婚に対する周囲のアドバイス力の低下

## 事業の特徴

- 企業・団体、地域などで、結婚を希望する若者を応援する「お節介運動」を県民あげて推進する。  
そのキックオフイベントとして「しあわせ未来お節介シンポジウム」を開催する。

## 事業費

78万円

## 期待される効果

結婚応援者のスキルアップや情報交換を行い、結婚支援の取組の活性化を図ることにより、少子化対策の強化につながる。

## 事業の概要

### 【趣旨・目的】

- 結婚支援NPOや行政担当者、市町村の結婚推進員等の「結婚応援者」を対象としたシンポジウムを開催することで、結婚応援者としてのスキルアップを図るとともに、参加者の情報交換や相談の場を設けることにより、関係者間のネットワークの強化を進め、結婚支援の取組の活性化を図る。

### 【事業内容】

- 結婚応援者を対象としたシンポジウムの開催 「しあわせ未来 お節介シンポジウム」
- 関係者間のネットワークの強化 「お節介運動」の推進

## 事業の様子



# 潜在保育士の復職推進事業

(地域少子化対策強化交付金)

## 地域の実情と課題

### ○実情

- ・保育所入所希望者が年々増加することに伴う保育士需要の拡大
- ・資格を取得して保育士養成校を卒業した者の内、保育所・幼稚園に就職した者の割合69%

### ○課題

- ・子ども・子育て支援新制度の本格施行に伴い保育士の人材確保が求められる
- ・就労意欲のある潜在保育士の不安を取り除くシステムが確立していない

## 事業の特徴

○保育士養成校の中から数校をモデル校として選定し、全数調査を実施する。

○潜在保育士の実態調査結果を生かし、保育士として就職・復職したい人への支援を行う。

## 事業費

1, 163万円

## 事業の様子



## 期待される効果

保育士養成校卒業者約15,000人を対象としたニーズ調査を実施するとともに、潜在保育士へ就労までの支援を行うことで、保育士の確保が図られる。

## 事業の概要

### 【趣旨・目的】

○子ども・子育て支援新制度において、保育の量的拡大が求められる中、保育を支える保育士の人材確保は喫緊の課題である。

このため、保育士養成校の中から3校程度をモデル校として選定し、卒業者に対するニーズ調査を実施するとともに、保育士不足の現況を伝えたり、現場復帰のための研修会を開催することで、潜在保育士の掘り起こしを図るものである。

### 【事業内容】

- 保育士養成校卒業者に対するニーズ調査の実施
- 潜在保育士に対する情報提供
- 潜在保育士に対する研修会の実施